

■ 特定非営利活動法人虹橋の会より

このたび平山郁夫美術館様のご厚意で、「和紙ちぎり絵で、平山郁夫作品模写・世界遺産を描く」と題し、和紙ちぎり絵展を開催することになりました。

平山郁夫画伯は130回以上シルクロードを旅され、仏教伝来の道を描き続けてこられました。また広島での被爆体験により、世界平和を心から願い、平和友好・文化遺産の保護に大きな貢献をされ、ユネスコ親善大使や日中友好協会会長などを務められました。

特定非営利活動法人虹橋の会は、和紙ちぎり絵などを中国へ紹介するとともに、18年間、中国14都市、30カ所、延べ6,300名の方々に伝統文化の普及と芸術交流を実施してまいりました、そして、その結果を発表するために、仲間と連携し日中展を6回行いました。その原点は、平山郁夫画伯にあります。

今回和紙ちぎり絵で模写させていただきましたが、平山画伯の精神を少しでも表現出来たらと思って作成しました。

この展覧会が、新型コロナウイルスで疲弊した皆様に少しでも明るい光となれば幸いです。

和紙ちぎり絵による平山郁夫作品模写



模写「朝陽砂漠らくだ行」作 曾利敏江



模写「仏教伝来」作 岩井梅子



模写「砂漠らくだ行（月）」
作 井尻久美子



模写「万葉月華図」作 貞森京子



模写「黎明薬師寺」作 青木紀子



一部模写「シルクロードを行くキャラバン」
作 柿木功子



模写「パルミラ遺跡を行く・朝」
作 中島清美

和紙ちぎり絵による世界遺産



世界遺産「ヒロシマ忘れじ」
作 友近純子



世界遺産「赤富士」作 石原保恵

和紙ちぎり絵で 平山郁夫作品模写・世界遺産を描く



平山郁夫作品「皓月ブルームスク（イスタンブール）」
のちぎり絵による模写 作 濱寄和子



平山郁夫 Hirayama Ikuo

平山郁夫は1930年広島県瀬戸田町（現・尾道市）に生まれ、瀬戸内の青い海や緑の島々の織り成す豊かな自然の中で少年期を過ごした。1945年8月6日、広島市で被爆。その後遺症に苦しめられたが、やがて「仏教伝来」を初めとする平和を願う作品を多く描くこととなった。東京美術学校（現・東京藝術大学）日本画科を卒業し、仏教がもたらした日本文化の源流を求めて、東西文化の交流の路シルクロードへと、玄奘三蔵による仏教東漸の道を迎える取材旅行は、現在35万キロにも及んだ。さらに、忙しい制作活動のかたわら「文化財の赤十字構想」を掲げ、世界の文化遺産保護活動にも精力的に取り組んだ。これらの全ての活動は、平和への祈りが原動力となっている。

2020年 10月12日 月 - 11月8日 日

平山郁夫美術館 ロビー ※ロビーだけのご利用でしたら、入館料はいただきません。

〒722-2413 広島県尾道市瀬戸田町沢200-2 TEL (0845)27-3800

【主催】 公益財団法人平山郁夫美術館 特定非営利活動法人虹橋の会

【後援】 広島県 広島市 尾道市 公益財団法人ひろしま文化振興財団 広島県日本中国友好協会 広島県日中親善協会 公益財団法人ヒロシマ平和創造基金 日本中国友好協会広島県連合会・広島支部 中国・四国中国帰国者支援・交流センター 広島ユネスコ協会 福山日中友好協会 全国和紙ちぎり絵サークル本部 朝日新聞広島総局 中国新聞備後本社 尾道新聞社

作品目録

作品種類：平山郁夫作品模写

	作品名	出品者名	所属団体
1	万葉月華図	貞森 京子	広島和紙ちぎり絵サークル 講師
2	黎明薬師寺	青木 紀子	庄原和紙ちぎり絵サークル代表・講師
3	朝陽砂漠らくだ行	曾利 敏江	庄原和紙ちぎり絵サークル 講師
4*	燦・瀬戸内（輝く瀬戸内海）	大沼 靖子	中国帰国者支援・交流センター交流活動教室
5	西ノ京夕映薬師寺	闇 俊玉	〃 〃
6	朝陽砂漠らくだ行	陳 錫雁	〃 〃
7	南海夕陽・海のシルクロード	張 阿玲	〃 〃
8	朝陽砂漠らくだ行	福本 貴枝	〃 〃
9	尾長島	青木 洪蘭	〃 〃
10	流砂浄土変	志茂 由美子	NPO法人虹橋の会 会員 中国帰国者
11*	ポンペイ壁画幻想(II)	程 永秀	〃 〃
12	砂漠らくだ行（月）	顎 淑蘭	〃 〃
13*	瀬戸田曼荼羅	山口 芹子	〃 〃
14	西域の馬	川口 恵英	〃 〃
15	朝陽らくだ行	住野 和子	〃 〃
16	月明	任 桂香	〃 〃
17	興福寺の月	友近 純子	NPO法人虹橋の会 副理事長・講師
18	富士山	友近 純子	〃 〃
19	砂漠らくだ行（月）	井尻 久美子	NPO法人虹橋の会 会員・講師
20	月明 タジマホール	井尻 久美子	〃 〃
21	皓月ブルーモスク（イスタンブール）	濱寄 和子	NPO法人虹橋の会 理事・講師
22	暁春橋富士	濱寄 和子	〃 〃
23*	シルクロードを行くキャラバン	柿木 功子	〃 〃
24	パルミラ遺跡を行く・朝	中島 清美	NPO法人虹橋の会 会員
25	仁和寺月華	中島 清美	〃 〃
26	仏教伝来	岩井 梅子	NPO法人虹橋の会 理事長・講師 中国帰国者
27	求法高僧東帰図	岩井 梅子	〃 〃

*一部模写

作品種類：世界遺産描く

28	赤富士	石原 保恵	岡山県石原保恵ちぎり絵教室 代表・講師
29	秋の白川郷	松田 弓子	岡山県石原保恵ちぎり絵教室 会員
30	富士山	小川 清子	〃 〃
31	雪の白川郷	田井 眞砂子	〃 〃
32	ヒロシマ忘れじ	友近 純子	NPO法人虹橋の会 副理事長・講師
33	宮島の春	岩井 梅子	NPO法人虹橋の会 理事長・講師 中国帰国者

特定非営利活動法人虹橋の会 ご案内

団体名 特定非営利活動法人虹橋の会（旧名 虹日中文化交流会）

代表者職・氏名 理事長 岩井梅子

連絡先 〒733-0873 広島市西区古江新町 5-24-203 電話(FAX)：082-272-0738

メール：njhsnk@hotmail.co.jp http://www.njhsnk.com

会の沿革 2002年2月 虹日中文化交流会 設立 2011年12月 特定非営利活動法人虹橋の会 移行登記
設立目的 和紙と和紙ちぎり絵、折り鶴を中国へ紹介するとともに、中国の武術太極拳・切り絵などの伝統文化を日本に広める活動を通じて、外国と日本の伝統文化の相互交流、伝承を促進し、友好関係を強化することで、文化芸術の振興や友好と平和の推進に寄与する。

役員構成 日本人7名、中国帰国者2名 中国人1名 計10名

会員数 46名 **年会費** 個人(3,000円) 団体(20,000円)

これまでの実績

1.和紙と和紙ちぎり絵を広める活動：18年前から、和紙と和紙ちぎり絵を中国へ広める活動を始めた。 時期と場所：

① 2002年4月～2011年11月 およそ年1回～3回 大連市

② 2012年5月29日～6月5日 大連市・ハルビン市

③ 2013年11月3日～11月13日 成都市・樂山市・重慶市・南京市・杭州市

④ 2015年10月24日～11月4日 黄山市・蕪湖市・武漢市・重慶市・成都市・自貢市

⑤ 2015年12月21日～12月23日 南京市 ⑥ 2016年3月9日～3月11日 杭州市

⑦ 2017年10月9日～10月13日 済南市・青島市 ⑧ 2018年9月17日～9月23日 北京市・重慶市

派遣者：会の和紙ちぎり絵講師、ポップアップ切り絵講師、カメラマン、折り鶴愛好者、通訳 5-6名
 現地受講者：中国美術学院・大学美術系の教師と専攻生、中小学校美術教師・生徒、老年美術愛好者及び日本語を習っている中学生～大学生、一般市民ら、計14都市・30カ所、延べ6,300人以上。

2.広めた成果を展示会で発表する活動：

上述広めた活動の成果を作品展で公開することを通じて、和紙振興事業の進め、多数の有志に共催、助成、後援、出品してもらった。

和紙ちぎり絵作品を含める日中展が2009年以来6回行った。展示会名と時期：

①「第1回日中文化芸術交流展」：2009（平成21）年11月2日～11月7日

②「第2回日中文化芸術交流展」：2011（平成23）年11月2日～11月6日

③「日中和紙ちぎり絵展—和紙ちぎり絵を中国へ広めた先駆者・故亀井健三先生を偲ぶ」：2012（平成24）年11月1日～11月5日

④「第2回日中和紙ちぎり絵展—広島県・四川省友好提携30周年記念」：2014（平成26）年11月11日～11月15日

⑤「第3回日中和紙ちぎり絵展—広島市・重慶市友好都市締結30周年記念」：2016（平成28）年10月26日～10月30日

⑥「第4回日中和紙ちぎり絵展・書画・折り鶴合同展—中華人民共和国建国70周年&広島県・四川省友好提携35周年&令和元号を祝う」：2019（令和元）年10月9日～10月14日

展示場：広島県民文化センター 地階 展示室

3.各活動や教室の実施状況：

① 広島県・市の他団体が主催されるイベントに参加する；

② 中国帰国者支援・交流センターと地域小学校と連携して、異文化交流体験活動を行い、地域住民との交流活動・親睦会を実施する；

③ ちぎり絵を伝承する人材を育成する和紙ちぎり絵教室を開設中；

④ 中国帰国者向けの教室を実施している（和紙ちぎり絵・日本語・中国武術太極拳・折り鶴 他）。

和紙ちぎり絵教室のご案内：月1回 第1土曜日午後1時～3時

袋町市民交流プラザ南棟3階 教材費1,650円/1回 年会費3,000円。

受賞歴：「第17回広島ユネスコ活動奨励賞」（2014年度） 広島ユネスコ協会より

「第19回国際交流奨励賞」（2016年度） 公益財団法人 ヒロシマ平和創造基金より

「折り鶴広島3部作・ポップアップ切り絵」：「ヒロシマの心」を沢山の人たちに知ってもらい、「核兵器廃絶」と「世界平和」を目指すため、「被爆都市」広島を象徴する作品を創作しています。

①「原爆ドーム」 ②「原爆の子の像」 ③「平和の鐘」 ④「世界遺産」など

4.今後の目標：当会は、日本と中国、両国伝統文化を互いに広めるNPO法人として18年間活躍してまいりました。これからは有意義な活動を続けると共に、平山郁夫画伯の世界文化遺産保護及び平和への祈りの精神を続けて学び、ご遺志を継いで、伝統文化の交流・伝承及び友好・平和の架け橋に役立てる。

団体・企業・個人の皆様へ：

虹橋の会の設立目的と各活動にご賛同いただき、多くの団体・個人の方々にご入会ご寄付賜りますようお願い申し上げます。（入会申込書をご郵送します 又は、会のホームページからダウンロードできます）

お問い合わせ先：特定非営利活動法人虹橋の会 担当：岩井（上記 連絡先までにお問い合わせいたします）。

年会費・寄付金の送金方法：

振込先名義：特定非営利活動法人 虹橋の会

取扱銀行：もみじ銀行（古江支店 普通預金 No.3000219）

2020（令和2）年10月 特定非営利活動法人虹橋の会 一同

